

2021.3.24

緊急事態宣言下の 2021 年 2 月のスタートアップ雇用指数「WANTEX」を公開 昨月からの下落幅は小さくなり、2.66 という結果に(前月比-0.09 ポイント)

スタートアップ企業がビジネス SNS「Wantedly」へ掲載した募集数に対する応募者数の割合を日本におけるスタートアップ経済の成長性を示唆する先行指標として公開
 ほぼ全ての業種で WANTEX が減少する中、デジタル人材に絞るとニーズの高まりを見せる業界も

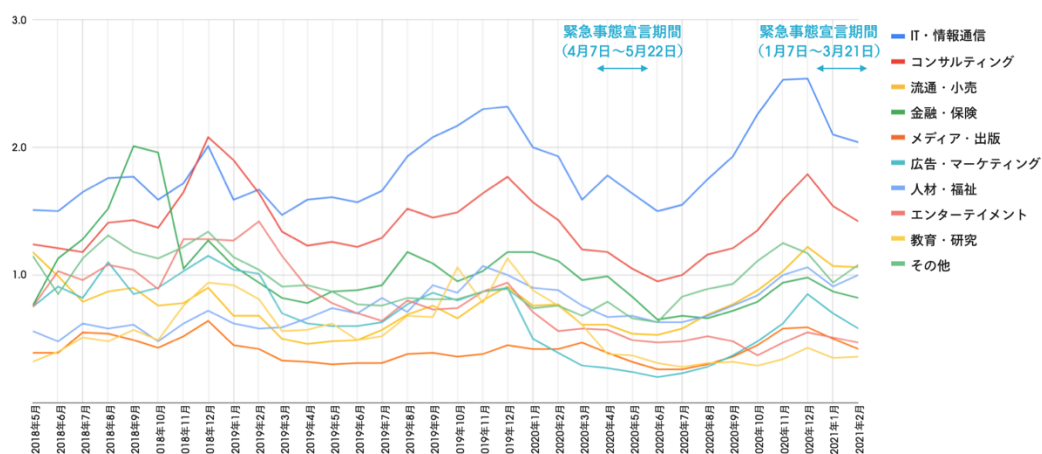


ビジネス SNS「Wantedly」を運営するウォンテッドリー株式会社は、2021 年 2 月版のスタートアップ雇用指数「WANTEX」（Wantedly Job Market Index、読み：ウォンテックス）を公開しました。

緊急事態宣言下にも関わらず、昨月からの下落幅はコロナショック前と同水準という結果に

WANTEX は東京都が緊急事態宣言を発出した 2020 年 4 月~5 月から上昇を続け、2020 年 12 月には過去最高値を更新しましたが、緊急事態宣言が再度発出された 2021 年 1 月には大きく下落しました。1 月度から 2 月度にかけての変動に着目すると 2020 年 2 月、2021 年 2 月共に 0.09 ポイント減となり、緊急事態宣言発出前の傾向に戻りました。

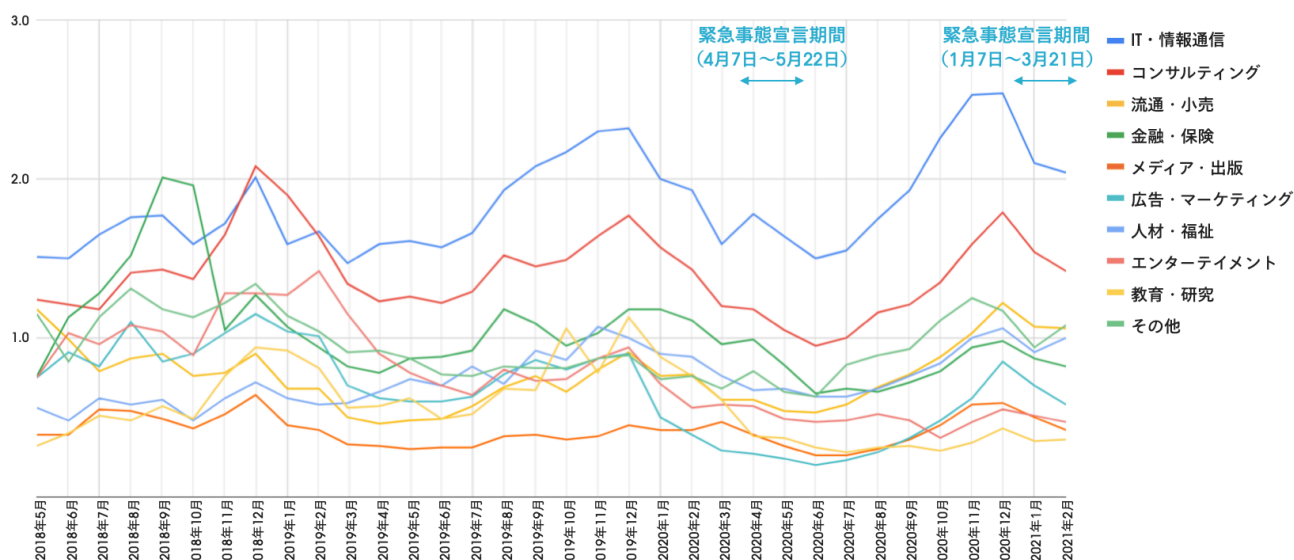
業種別WANTEX 推移



業種別では 2 業種の WANTEX のみ対前月比で増加するという結果に

業種別の WANTEX 推移を見ると、人材・福祉、教育・研究以外の業種において減少傾向が見られました。

業種別 WANTEX 推移



2021年2月時点の WANTEX の業種別ランキングは以下の通りで人材・福祉業界が対前月比 110%と最も大きな伸びを見せました。WANTEX が 1 倍を割り込んでいる業種においては募集数に対して応募人数が超過しているため、該当業種のスタートアップ企業は採用しやすい状況にあると思われます。

表1：業種別 WANTEX ランキング (21/2月)

No.	業種	WANTEX	対前月比
1	IT・情報通信 -	2.04	97%
2	コンサルティング -	1.42	92%
3	流通・小売 -	1.06	99%
4	人材・福祉 ↑	1.00	110%
5	金融・保険 ↓	0.82	94%
6	広告・マーケティング -	0.58	83%
7	エンターテイメント ↑	0.47	92%
8	メディア・出版 ↓	0.42	84%
9	教育・研究 -	0.36	103%

緊急事態宣言下においても伸びを見せるデジタル人材ニーズ。DX 加速の影響か。

表 1 より IT・情報通信業を除き、募集の対象職種をデジタル人材に絞った業界別 WANTEX を算出したところ、デジタル人材の WANTEX は 5 業種で 100%を超えるという結果に。特に人材・福祉、教育・研究、広告・マーケティング業界では対昨日比で 120%強の伸長が見られました。表 1 では 2 業種のみ WANTEX が増大したのに対し、表 2 では 5 業種が増大するという結果になり、DX 加速によるデジタル人材ニーズの根強さを示唆する結果となりました。

表2：業種別デジタル人材WANTEXランキング（21/2月）

No.	業種	WANTEX	対昨日比
1	コンサルティング -	1.44	101%
2	金融・保険 -	1.08	95%
3	流通・小売 -	1.00	95%
4	教育・研究 -	0.86	123%
5	エンターテインメント -	0.72	109%
6	広告・マーケティング -	0.64	121%
7	メディア・出版 ↑	0.63	94%
8	人材・福祉 ↓	0.49	126%

※デジタル人材定義：「エンジニアリング」「PM・Web ディレクション」「デザイン・アート」の 3 職種で Wantedly に登録している人を指します。

非首都圏に着目すると福島県が TOP3 に初ランクイン

東京都を除いた 46 道府県における WANTEX に着目すると、対昨日比 135%と大きな伸びを見せた福島県が 2020 年 11 月の WANTEX 発表以来初めて TOP3 にランクインしました。

表3：道府県別WANTEXランキング（21/2月）

No.	道府県	WANTEX	対昨日比
1	宮城県 -	2.48	131%
2	大阪府 -	1.46	105%
3	福島県 ↑	1.32	135%
4	京都府 ↓	1.28	116%
5	愛知県 ↑	1.2	114%
6	神奈川県 ↓	1.1	105%
7	埼玉県 ↓	1.06	63%
8	北海道 ↓	0.76	106%
9	福岡県 -	0.61	97%
10	兵庫県 ↓	0.52	116%

※道府県別 WANTEX：該当する道府県を所在地として登録しているスタートアップ企業の掲載募集数を、それに対する応募者数で割り込んだ数を指します。

PM・Webディレクション系職種が伸び、TOP2をデジタル系職種が占めるという結果に

2021年2月時点の職種別WANTEDLYに着目すると、対昨月比の伸びも最も大きかったエンジニアリング職種がトップを飾るという結果に。

表4：職種別WANTEDLYランキング（21/2月）

No.	職種	WANTEDLY	対昨月比
1	エンジニアリング -	3.81	108%
2	PM・Webディレクション ↑	2.31	103%
3	セールス・事業開発 ↓	2.18	88%
4	メディカル系 -	1.71	96%
5	コーポレート系 -	1.61	94%
6	デザイン・アート -	1.59	97%
7	コンサルティング -	1.49	100%
8	カスタマーサクセス・サポート -	1.36	105%
9	マーケティング・PR -	1.19	97%
10	編集・ライティング -	0.71	101%

スタートアップ雇用指数「WANTEDLY」について

■ スタートアップ雇用指数「WANTEDLY」の定義

【算出式】「WANTEDLY」 = (スタートアップ企業が掲載している公開状態にある) 募集数 ÷ (スタートアップ企業への) 応募者数

※スタートアップ雇用指数は上記式の各項を月次で合算して算出しています。

※募集数、応募者数ともに、Wantedlyで公開された募集、応募した登録者を算出対象としています。

※スタートアップ企業は算出月から創業10年以内の企業を指します。

■ WANTEDLY 公開の背景

Wantedlyはスタートアップ企業とともに成長し、2020年の情報・通信業に分類されるマザーズ上場企業のうち、約7割(20/12/22時点)にご利用いただくに至りました。世界的には米国、中国を中心にスタートアップ経済が活況を示す中、未来の日本の産業を創る新興企業のトレンドを可視化することで、私達は日本のスタートアップ経済をより一層盛り上げていきたいと考えています。そのため、2020年11月よりスタートアップ経済の成長性を示唆する新たな先行指標として、スタートアップ雇用指数「WANTEDLY」の公開を開始いたしました。

ウォンテッドリーは、企業の潜在転職者への認知形成、共感を軸とした人と企業の出会いの創出を提供しながら、入社後の従業員の定着、活躍を支援するエンゲージメント事業を推進しております。スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を通じて、未来の日本の産業を創るスタートアップシーンの盛り上がりを加速させることで、Wantedlyが「はたらくすべての人のインフラ」となる世界の実現を加速させてまいります。

ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS「Wantedly」を提供しています。2012年2月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数 37,000 社、個人ユーザー数 290 万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

<会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社
URL : <https://www.wantedly.com>
本社所在地 : 東京都港区白金台 5-12-7 MG 白金台ビル 4F
代表取締役 : 仲 暁子
設立 : 2010年9月
事業概要 :

290 万人以上が利用するビジネス SNS「Wantedly」

- 気軽に会社訪問ができる Wantedly Visit
- 活躍を共有する SNS Wantedly People

ビジネス向け

- 採用マーケティング
- エンゲージメント Suite